祝卒学「平成20年度 卒業式」開催!!

3月13日(金)、大阪狭山市SAYAKAホールにて、ホンダテクニカルカレッジ関西の卒業式が執り行われました。

卒業生は自動車整備科241名、一級自動車整備研究科17名、自動車研究開発科20名の計278名です。

なお、本校の姉妹校であるホンダテクニカルカレッジ関東の卒業生は310名です。両校あわせ588名が卒業を迎えました。

最初に卒業証書と専門士資格がクラスの代表者に授与されました。

続いて、大阪府知事賞などの表彰やHondaが独自に認定している、ホンダ四輪サービス2級・3級エンジニアなどの資格が授与されました。

卒業式後は、祝賀パーティーが開かれ、友人や先生たちと本校での思い出話に華を咲かせました。卒業生のみなさん、おめでとうございます。今後の自動車業界を背負う人材として、立派に成長し活躍されることを期待しています。

卒業証書授与式

多くの保護者の方々が出席され、盛大に開催された卒業式

卒業生数

自動車整備科	241名
一級自動車整備研究科	17名
自動車研究開発科	20名
総　数	278名

卒業式祝賀パーティー

表彰者紹介

大阪府知事賞
自動車整備科 2年1組 松本 晃尚

全国自動車大学校整備専門学校協会会長賞
一級自動車整備研究科 4年1組 平内 潤
自動車研究開発科 3年1組 松永 竜太

日本自動車整備振興会連合会会長賞
自動車整備科 2年2組 大杉 晃一

ホンダ学園賛助会会長賞
自動車整備科 2年1組 久保 猛
一級自動車整備研究科 4年1組 竹村 直人

大阪府専修学校各種学校連合会名誉会長賞
自動車研究開発科 3年1組 佐藤 聡
自動車整備科 2年1組 上林 亮介
自動車整備科 2年3組 佐伯 裕介
自動車整備科 2年4組 辻野 将成

専修学校教育振興会理事長賞
一級自動車整備研究科 4年1組 林 拓哉
自動車研究開発科 3年1組 柴野 裕司

努力賞
一級自動車整備研究科 4年1組 山出 将平
自動車研究開発科 3年1組 熊谷 剛平
自動車研究開発科 3年1組 田原 俊平
自動車整備科 2年1組 堀 元気
自動車整備科 2年1組 町田 誠一
自動車整備科 2年2組 北村 圭
自動車整備科 2年2組 砂場 友右哉
自動車整備科 2年2組 丸尾 直輝
自動車整備科 2年3組 岡本 和樹
自動車整備科 2年3組 松井 航
自動車整備科 2年4組 稲瀬 陽平
自動車整備科 2年4組 崔 成植
自動車整備科 2年4組 門田 理沙
自動車整備科 2年5組 安部 達郎
自動車整備科 2年5組 北辻 修一
自動車整備科 2年5組 船瀬 健太郎
自動車整備科 2年5組 中井 謙太郎
自動車整備科 2年6組 川口 真有香
自動車整備科 2年6組 山岡 諒
自動車整備科 2年6組 長尾 健志
自動車整備科 2年6組 近藤 心弥
自動車整備科 2年4組 峯山 卓也
自動車整備科 2年4組 寺田 光寛
自動車整備科 2年3組 橋本 和浩
自動車整備科 2年2組 竹内 亮
自動車整備科 2年1組 河野 克美
自動車研究開発科 3年1組 柴野 裕司

Hondaの燃料電池車「FCXクラリティ」展示

2月12日(木)、本校にTVや雑誌で究極のクリーンカーとして注目をあつめている「FCXクラリティ」がやってきました。

「FCXクラリティ」は、燃料電池車専用として設計され、Honda独自開発の燃料電池スタック「V Flow FCスタック」を核に、燃料電池車だからこそできるデザイン、パッケージ、そして異次元のドライブフィールを実現。水素を燃料とするため走行中にCO2を全く排出しない究極のクリーン性能だけでなく、クルマとしての新しい価値と魅力を提供するクルマです。

世界にまだ数台しかない貴重なクルマに触れた学生たちは、「FCXクラリティ」に圧倒されたようで口々に驚きの声をもらしていました。

●FCXクラリティ

「凄い」と口々に驚きの声をもらす学生たち

「大阪で雪を楽しむ」寮行事 金剛山登山

2月7日(土)、毎年恒例の寮行事「金剛山登山」を行いました。

金剛山は、標高1,125mの大阪府最高峰の山です。また、大阪ではめずらしく、冬には雪が積もり樹氷が見られることでも有名です。

今年は天候も良く絶好の登山日和でしたが、楽しみにしている雪が積もっているかが心配されました。

期待と不安を胸に約1時間程登ると次第に雪景色が姿を現しました。疲れた表情を見せていた学生たちですが、一面に広がる雪景色を目にすると表情も明るくなり、疲れも消えていました。

大阪ではめずらしい樹氷が見られる

登頂した学生たちは、壮大な雪景色を写真におさめたり、雪合戦やソリなどをして大阪ではめったに触れることのできない雪を楽しんでいました。

雪に大はしゃぎの学生たち、中には裸になる学生も

地域活動に協力!大阪狭山市と災害協定結ぶ

2月20日、本校と大阪狭山市は、災害発生時における応援協力の協定調印式を執り行いました。

村上校長は調印式挨拶で「"人に愛され信頼される技術者の育成を通じ世の中に貢献する" という創設者本田宗一郎さんの定めた"建学の精神"にも合致することであり、地域活動に協力できることは学園としても学生としても光栄なことで、今後も地域に根ざした活動に積極的に取り組んでいきたい」と力強く語りました。

●応援協力の内容(6項目)

1,学生が自発的に行うボランティア活動への積極的な協力
2,校庭の一時避難地としての使用
3,校舎等施設の避難所としての一時使用
4,学生寮の浴室の使用
5,応急医療資材及び備蓄物資等の提供
6,車両(車・バイク)の提供

写真下段左/大阪狭山市 吉田友好市長
写真下段右/ホンダテクニカルカレッジ関西校長 村上洋

元Hondaワークスライダー宮城光さんが安全運転講話

1月23日、本田技研工業(株)から宮城光さんにお越しいただき、1年生を対象に安全運転講話を開催しました。

宮城光さんは元Hondaワークス2輪ライダーで、全日本選手権および全米選手権でチャンピオンの獲得経験を持ち、4輪レースでもその才能を発揮しています。現在は、テレビのMotoGP中継でレース解説者を務めるほか、Honda Collection Hallに関する所蔵車両の動態確認テストを行うなど多方面で活躍しています。

熱心にメモを取る学生たち

今回の安全運転講話は、学生たちにとって興味のあるレースの話しを織り交ぜながら、安全運転のテクニックやマナーについてお話しいただきました。

宮城さん自身の体験談を踏まえての講話は、大変分かりやすく、自動車業界を目指す学生たちにとって安全運転の意識を高める良い機会になったと思います。

レースの体験談を交え安全運転のテクニックを説明

新任の挨拶

事務学生部総務課
児玉 正三

4月1日より総務課に着任しました児玉です。ホンダ学園に来る前は、国内営業での経験が長く、特に大阪の販売会社(旧ベルノ店)に16年間勤務していました。

販売会社では、皆さんの大勢の先輩達と一緒に仕事をしていたので、この経験が皆さんのお役に立つと思っています。気軽に声をかけてください。

自動車研究開発科
鈴木 剛

3月より開発科に着任しました鈴木剛と申します。本校の8期生で、18年ぶりにホンダ学園に戻ってまいりました。生徒の皆さんには授業の内容を、試験のための"記憶"として覚えるのではなく、「この部品はどう役に立つのか?」「これがベストの方法なのか?」と一から考える力を養ってもらいたいと思っています。一緒に考え共に成長しましょう。

自動車整備科
石田 勝也

3月からお世話になっております石田です。本校の22期生です。

卒業後は、ダイナーホンダ販売株式会社でサービスエンジニアとして約3年半、その後、株式会社クボタの生産ラインで働き、ラインのあり方を学びました。

安全を第一に、楽しく授業を進めていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

退任の挨拶

事務学生部総務課
安田 順一

ホンダ学園で11年間お世話になりました。4月23日をもって定年退職となります。

学生の皆さんは、ホンダ学園の次は社会人です。ハード面の整備の授業は勿論ですが、社会ではソフト面での対応が重要な要素になります。挨拶・身だしなみ等しっかり身につけて頂きたいと思います。皆さんの今後のご活躍を願っております。

自動車整備科
福森 久朝

ホンダ学園は、自分の力を存分に発揮できる場所であり、私にとってここで過ごした数十年間は最高に幸せでした。

最後に学生の皆さんに一言。学生の皆さんは心に余裕を持ってください。心に余裕がなければ何事も吸収できません。学生の皆さんには、心に余裕を持ち色々なことを吸収し、大きく成長して欲しいと思っています。

転任の挨拶

自動車整備科
森本 義隆

2008年4月より1年間、母校であるホンダ学園で教鞭を取らせていただきました。

ホンダ学園は私の原点であります。皆さまと共に学ばせていただいたこの時間は大変有意義なものでありました。1年間という短い時間ではありましたが、本当にありがとうございました。皆さまの一層のご活躍をお祈り申し上げます。